

# 十勝教育研究

## 巻頭言

十勝教育研究所運営委員会  
委員長  
菅野 勇次

## 教育現場への期待

南十勝長期宿泊体験交流協議会  
STEP 事務局員  
安保 翔太



## わたしの授業実践

音更町立共栄中学校  
教諭  
山田 光



## わたしの学級経営

浦幌町立浦幌小学校  
教諭  
村瀬 陽子

## 研究所めぐり

芽室町教育研究所  
所長  
吉本 徹

## 健やかな心と体

清水町立清水中学校  
養護教諭  
合掌 彩子

## 日々徒然

芽室町立芽室南小学校  
教諭  
中村 俊太



## 日々徒然

幕別町教育委員会  
国際交流員  
グリーンハウ・スティーブ

## 学習評価の改善と指導の充実

## 遠隔授業の今～withコロナ～

## 特集

## 卷頭言

十勝教育研究所運営委員会  
委員長

菅野 勇次

(幕別町教育委員会 教育長)



# 新しい学校への転機として

新学習指導要領が小学校で全面実施となつた今年度、コロナ禍が全世界を襲いました。長期にわたる休校や三密を回避しながらの学校再開など、正に新学習指導要領が目指す予測が難しい時代を生き抜く力が必要とされる事態となっています。これに対し、十勝の各学校では工夫を凝らした対策で見事な対応を見せていました。「ういう時こそ学校力が問われる」幕別町のある校長の言葉ですが、正にその

通りだと思います。3年前の台風被害の時もそうでしたが、十勝教育の底力を強く感じているところです。

この十勝の教育力を支えてきたのが、教職員が自分たちで結成した数々の教育研究サークルと教育行政が力を尽くしてきた教育研究所の研究活動だと考えます。教育研究サークルに研究では、思考ツールやソーシャルスキルを活用した道徳科や特別活動の研究を開発して、新学習指導要領の核心に迫ろうとしています。遠隔授業についてもまた別の機会に譲りますが、

管内19市町村全てに教育研究所があり、そのほかに十勝教育研究所が設置の発刊、ホームページやフェイスブックによる情報発信など時宜にかなった所活動を誇っています。

活動の要になっている十勝教育研究所は、十勝管内教育委員会連絡協議会（教委連）によって設置されている公的な研究機関であり、市町村研究所との共同研究開始や連絡協議会設立から間もなく半世紀を迎えようとしています。運営に責任をもつ教委連は、運営委員会を組織し、調査委員会やモニター会議などを設置して、その充実に力を尽くしてきたところです。

研究所員についても管内各校から先生方にお願いし、先進的な調査研究、資料提供等の業務を進めていただいています。今年度も、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、単元デザインや学習活動の工夫について深めの共同研究を継続し、また協力員が、必ずやその先頭に立つて奮闘します。十勝の各学校ではそれへ向けて取組も始まっています。十勝教育研究所は、必ずやその先頭に立つて奮闘してくれるものと確信しております。私たち教委連・運営委員会はそれをしっかりと支えていく所存です。「すべては子どもたちのために」力を合わせて、

克による情報発信など時宜にかなった取組も始めています。さて、今年7月に、民族共生象徴空間ウポポイが約3か月遅れで開業しました。自然の全ての恵みは神々（カムイ）が姿を変えて人間世界にもたらしてくれるとの信仰心など、アイヌの人々の世界観を体感できる施設となっています。自然と一体となり自然を受け入れる精神世界は、私たちに多くの示唆を与えてくれます。

新しい感染症との戦いが宿命である人類にとって、今回のコロナ禍も災害としてただ嘆くだけなく、新しい生活、新しい学校へと生まれ変わる天啓と捉える勇気をもちたいものです。すでに十勝の各学校ではそれへ向けて取組も始まっています。十勝教育研究所は、必ずやその先頭に立つて奮闘してくれるものと確信しております。私たち教委連・運営委員会はそれをしっかりと支えていく所存です。「すべては子どもたちのために」力を合わせて、共に頑張りましょう。

# 十勝 教育研究

Vol.336

November.2020

# 特集 学習評価の改善と 指導の充実

## 遠隔授業の今 ～withコロナ～

### INDEX

16

15

14 13

12

10

8

4

2

1

#### ◆卷頭言

新しい生活、新しい学校への転機として

十勝教育研究所運営委員会

委員長 菅野 勇次

#### ◆連載 わたしの学級経営

自分で考え、行動できる子どもたちへ

浦幌町立浦幌小学校

教諭 村瀬 陽子

#### ◆目次

#### ◆教育現場への期待

南十勝長期宿泊体験交流協議会 STEP

事務局員 安保 翔太

#### ◆特集1 学習評価の改善と指導の充実

##### 学習評価の改善

指導と評価が一体となった授業実践例

① 小学校・体育科「思考・判断・表現」の評価

幕別町立幕別小学校

教諭 細田 泰稔

② 中学校・理科「主体的に学習に取り組む態度」の評価

幕別町立札内東中学校

教諭 笹川 拓哉

#### ◆特集2 遠隔授業の今～withコロナ～

昨今の状況と遠隔授業

web会議システムZoomの使い方  
「画面共有」を使えば遠隔授業が簡単にできる！

芽室町立芽室小学校

教諭 三上 智弘

チームで取り組めば、効果も倍に！

豊頃町立豊頃中学校

校長 服部 賢  
教諭 鍋島 和樹  
教諭 賢

#### ◆連載 わたしの授業実践

思考の過程を大切に

音更町立共栄中学校

教諭 山田 光

#### ◆学校めぐり

中札内村立上札内小学校

校長 島田 諭

#### ◆連載 わたしの学級経営

ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む

探究・提案・発信型の学びを目指して

芽室町教育研究所

所長 吉本 徹

#### ◆研究所めぐり

たかが保健だより、されど保健だより

清水町立清水中学校

養護教諭 合掌 彩子

#### ◆教育情報

研究発表大会案内・共同研究概要

協力員研究概要

教育情報サイト・研修会報告

#### ◆編集後記

日々徒然  
20年越しの指導

芽室町立芽室南小学校

教諭 中村 俊太

Outdoor Hokkaido

幕別町教育委員会

国際交流員 グリーンハウ・ステイーブ

# 教育現場への期待



南十勝長期宿泊体験交流協議会 STEP

事務局員 安保 翔太さん

STEPは、農林水産省、文部科学省、総務省の3省が連携した「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進する協議会として、平成20年4月に大樹町で発足した。

本プロジェクトは、子どもたちの長期宿泊体験活動に地域の多様な人材・地域資源を活用し、子どもたちに情操教育を行いつつ、地域コミュニティの再生、農山漁村地域の活性化に資することが目的である。これまでに、山菜採り、川遊び、薪割り、雪遊び、火薬ロケット作製・打ち上げなど、様々なプログラムを行ってきた。

今回は、STEP事務局員の安保翔太さんに話を聞いた。

「私たちの活動は、『楽しかった』だけで終わらないように、体験を通じて、学校、日常生活にも生かせる『経験』していくことが目的です」と安保さんは語る。

プログラムは幼稚から中学生までが対象だが、高校生からはボランティア

スタッフとして運営側を経験できる。「参加側」から「運営側」を体験することで、『社会を上手に生きる術』『仕事の意味』を考える経験にもなる」と言う。

実際に、小、中学生の時は参加者として、高校生ではボランティアスタッフとして参加してくれた子どもは、「参加者としてのキャンプは学校だけが自分の居場所ではないと知ることができた。スタッフ側から見るキャンプは別の世界で、こんなことを考えていたんだ…、と驚くことばかりで、スタッフの言動が学びになった。スタッフとして褒めてくれる、必要としてくれると、もつと自分にできることはないと考えたり、責任感が生まれたりして、やりがいを感じた」と話してくれた。また、幼稚から小学校卒業まで参加した子どもの「自然体験は、学校の勉強にもつながっていると思う。忘れ物をしたことで、楽しめなかつた活動も、今はよい思い出で、準備の大切さを知る

# 体験を通じて「生きる力」を育む。

「これが何ですか？」  
「学校の忘れ物も減ったと思う」という声も紹介してくれた。  
安保さんは、STEPの活動にどのような思いをもっているのだろうか。  
「大学生の時、東日本大震災で被災した子どもたちの支援活動に参加しました。活動をとても楽しんでいた子どもたちが書いてくれた手紙から、笑顔の裏に隠された苦悩があつたことも知り、胸が引き裂かれそうになりました。その時の『子どもたちの助けになりたい、日常でも活かせることを経験としてもつて帰つてもらいたい』という思いが自分のターニングポイントになりました。根本の思いは今も変わりません。

子どもたちは、自分がいる環境に影響を受けやすいんです。小さい子どもほど大きく影響を受け、その環境を変えていける決定権をもちにくい。だからこそ、周りにいる大人が自分のもてる限り、よりよい環境を選んであげられるか、つくつてあげられるかと、これが大事なんです」と安保さんは語

ことができた。学校の忘れ物も減ったと思う」という声も紹介してくれた。  
安保さんは、STEPの活動にどのような思いをもっているのだろうか。  
「大学生の時、東日本大震災で被災した子どもたちの支援活動に参加しました。活動をとても楽しんでいた子どもたちが書いてくれた手紙から、笑顔の裏に隠された苦悩があつたことも知り、胸が引き裂かれそうになりました。その時の『子どもたちの助けになりたい、日常でも活かせることを経験としてもつて帰つてもらいたい』という思いが自分のターニングポイントになりました。根本の思いは今も変わりません。

最後に教育現場への期待を伺つた。

「学校に在籍している、その段階に合わせて知識・技能などを習得することは大切です。それに加え、卒業後、活躍する社会、それぞれの人生の中で、どのように活用するのか、その人の力になるか、想像することが重要であると感じます。

子どもの成長を願い、人生の一端に関わる。それは学校教育、社会教育、家庭、地域、全てが大切な役割を担つており、それぞれが上手に機能していく状態が、子どもたちにも、大人たちにも一番よいと思います。それぞれが自分たちの得意とする分野・範囲で最大限精進し、自分たちがもち得ていな分野・範囲は協力して補う。そういった協力関係を築いていけばと思います」と安保さんは、熱い思いで締めくくつた。



上：野草の紹介をする安保さん  
下：真冬体験。雪遊びの一場面。



STEPは、宿泊体験以外にも、日帰り体験や小・中学校の宿泊学習の受入など、参加者のニーズに合わせて取組を行っている。

## 南十勝長期宿泊体験交流協議会 – STEP –

問い合わせ先

- ◆ 電話 01558-6-2133（大樹町教育委員会社会教育課内）事務局員 安保 翔太さん
- ◆ E-mail info@step-tokachi.org
- ◆ ホームページ <http://step-tokachi.org/>

# 特集 1

## 学習評価の改善と指導の充実

学習評価の改善

P. 4 ~ 7

指導と評価が一体となった授業実践例

①小学校・体育科「思考・判断・表現」の評価

P. 8 ~ 9

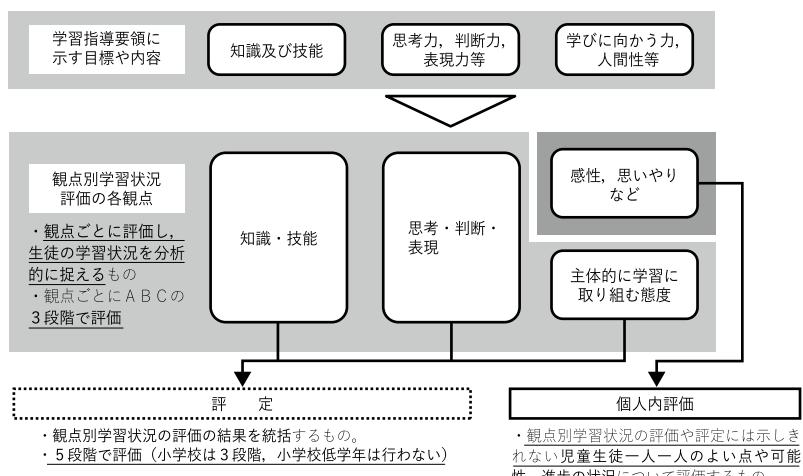
②中学校・理科「主体的に学習に取り組む態度」の評価

P. 10 ~ 11

### ◆ 学習評価の基本的構造

今回の学習指導要領改訂では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力が、「何を理解しているか、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わ

本号では、学習指導要領の全面実施に向けて、概要の確認と具体的な評価方法について特集します。



各教科における評価の基本構造 資料1

り、よりよい人生を送るか」の三つの柱に整理されました。また、全ての教科等の目標及び内容についても、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理されました。それに伴い、観点別評価についても、これらの資質・能力に関する「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点に変更になり、全教科の観点が統一されました（資料1参照）。

三観点に変わったことで、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の観点をどのように評価したらよいかということが注目されています。

### ◆ 「思考・判断・表現」の評価について

思考・判断・表現の評価については、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものであるとされています。そのため、従来のペーパーテストだけで評価することは難しいと言われています。

例えば、授業中に子どもが思考・判断・表現する場面を単元の見通しをもちながら計画的に設定することで、行動観察や発表のみならず、ノートや学習カード等の記述の内容に基づいた評価をすることが

### 【具体的な評価方法】

- ・ペーパーテスト
- ・論述やレポートの作成、発表
- ・グループでの話し合い
- ・作品の制作や表現

### 【パフォーマンス課題の具体例】

- ・朗読、プレゼンテーション、ディベート
- ・実験の計画・実施・報告
- ・演劇、ダンス、曲の演奏、彫刻
- ・歴史新聞、脚本、絵画

表が必要となります。3～5段階程度にレベルを分け、基準（どのくらいのレベルで）と徴候（どのようなことができていればいいのかという子どもの具体的な姿）を記載した判断基準表（ルーブリック）を作成し、子どもと共有します。子どもがパフォーマンス課題と評価の視点を事前に知ることで、学習に対する見通しをもつたり、目標す姿に向かって取り組んだりするなどの効果が高いと考えられます。

## ◆「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

主観的に学習に取り組む態度の評価については、次の二つの側面を評価することが求められています。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

「思考・判断・表現」の観点を評価するにあたり、子どもたちの学びを見取る一つの方法として挙げられるのが、パフォーマンス課題です。ペーパーテストだけでは十分に評価できない能力や技能を実際に用いるような課題を設定し、評価することができます。実技教科での活用はイメージやすいですが、実技教科以外での実施が注目されています。例えば、社会科では課題や仮説の設定、データや証拠の収集、分析、結論まで行うような調査活動をパフォーマンス課題として設定することができます。また、国語科では、書く目的・相手に合わせて多様なスタイルの文章を書く活動を通して、ポートフォリオを作成し、文章のスタイルを適切に用いることができるかを評価することができます。

特にパフォーマンス課題の評価については、パフォーマンスの質（熟達度）を評価する評価基準

また、一単位時間を評価することもあれば、音楽科や美術科など単元や題材などの内容のまとまりを通して、総括的に評価することもあります。目標の実現に向けて自己の学習を調整しようとしているか、継続的な把握に努めることが教師に求められています。

### 「主体的に学習に取り組む態度」の記述による評価例

【中学校：数学科】

「自分自身にとって『二次方程式を解く際のポイント』を選び、選んだ理由を書きましょう。」

評価：生徒のノートの記述例に対する評価と評価の視点

評価	評価の視点	生徒の記述例
A	気を付けるポイントとその理由が書かれている。	式の形を見ずに、すぐに式を展開して解いていたけれど、時間もかかるし、間違える可能性があるので、別の文字に置き換えて解く方法を使えるようにする。
B	気を付けるポイントが書かれている。	別の文字に置き換えて解く方法を使えるようにする。

国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より（抜粋）

# 必要な資料や具体的な作業



目標については、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力で整理されています。

## 指導と評価の計画（例）

★中学校社会科地理的分野 C日本の様々な地域 (3)日本の~~諸~~地域 ①自然環境を中心とした考察の仕方 (九州地方)

時間	主な学習内容	重点 記録	評価規準（観点）【評価方法】
1	<b>1 九州地方をながめて</b> ・九州地方が火山活動に由来する地形の特徴があることや、温暖で多雨の気候があることを資料から読み取り、理解する。	知	・火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気候からなる自然、盛んな農業、北部の平野に多い人口などの特色を理解している。（知・技）【ワークシート】 ・自然環境の影響に関して設定した探究課題の答えを予想し、検証していくとしている。（態度）【ワークシート】
2	<b>2 自然環境に適応する人々の工夫</b> ・九州地方の自然環境の中で、人々はどのような工夫をしながら暮らしているのかを写真などの資料から読み取り、表現する。	思	・桜島の火山噴火に伴う自然災害の実情や災害報道、人々が行う火山灰対策に関心をもっている。（態度）【グループ活動】 ・九州地方の風雨に伴う自然災害を、土地や気候といった自然環境の特色と関連付けて考察している。（思・判・表）【ワークシート】
3	<b>3 自然の制約の克服と利用</b> ・九州地方では、人々はどのように自然の恵みを産業に利用したり、自然環境に適応したりしているのかをグラフや写真などの資料から読み取り、理解する。	知	・九州地方の農業は南北で大きく異なること、沖縄県では美しい自然環境を生かした観光業が盛んであることを、それぞれの自然条件や課題と結び付けて捉えている。（知・技）【ワークシート】
4	<b>4 持続可能な社会をつくる</b> ・九州地方では、自然環境の保全と産業の発展とを両立させるため、どのような取組が行われているのかについて、2つの事例を比較して、共通点や相違点を見いだす。	思	・新旧写真の比較やゴミ分別の現状から、環境が大きく改善したことを読み取り、環境保全への取組を理解している。（知・技）【ワークシート】 ・2つの事例についての環境問題に関する共通点と相違点を捉え、持続可能な社会を実現するための取組について考察している。（思・判・表）【発表・ワークシート】
5	<b>5まとめ</b> ・九州地方の単元の学習課題について、今までの学習を基に、多面的・多角的に考察して表現し、身近な地域の生活と結び付けたり、次の学習につなげたりしようとする。	態 <input checked="" type="radio"/>	・九州地方の自然環境と人々の関係について、多面的・多角的に考察し、特徴的なものを選択して、論理的かつ具体的に表現することができている。（思・判・表）【レポート・発表】 ・単元で学んだ学習内容を基に、身近な地域に結び付けたり、次の学習につなげたりしようとしている。（態度）【レポート】

1時間の中で、2つの観点を評価することは難しいので、重点化を図り満遍なく見取るようにします。

## 観点別学習状況の評価に関する記録の総括

A, B, Cの数を基に総括する場合	A, B, Cの数値に置き換えて総括する場合
評価結果のA, B, Cの数が多いものが、その観点の学習状況を最もよく表現していると捉える方法。なお同一観点にて「A A B B」や「A B C」の総括の仕方については、あらかじめ各学校において決めておく必要があります。	評価結果A, B, Cを、数値化（例：A=3, B=2, C=1）し、合計したり平均したりする方法。総括の結果をBとする範囲を[2.5≥平均値≥1.5]とすると、「A B B」の平均値は、約2.3でBとなります。

## 最後に…

評価においては、子どもや保護者と評価の共有を図ることが大切です。事前に、学習評価の方針を共有する場面を設けることは、学習評価の妥当性や信頼性を高めることにつながります。また、子ども自身が学習の見通しをもつ上においても重要となってきます。子どもの発達の段階等を踏まえ、適切な工夫をしましょう。

# 評価規準の作成～学習評価の進め方の例～

## 1 単元の目標を作成する

学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成します。また、子どもの実態、前単元までの学習状況等を考えて計画を進めます。

## 2 単元の評価規準を作成する

単元の目標や内容に基づいて、子どもの実態や前単元までの学習状況等を踏まえて作成します。

★中学校社会科地理的分野 C日本の様々な地域 (3)日本の諸地域 ①自然環境を中心とした考察の仕方(九州地方)の例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>九州地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。</li><li>九州地方について、自然環境を中心とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</li><li>九州地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>九州地方の地域的特色を、自然環境を中心多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li><li>自然環境の影響の中で産業や生活・文化が発達してきたことを、人々の工夫などと関連付けて考察している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>九州地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に自然環境の影響に関心をもち、設定した単元の学習課題を基に地域的特色を意欲的に追究している。</li><li>持続可能な社会の構築に関心をもち、身近な地域や国内外の環境問題や環境保全に関心をもっている。</li></ul>

## 3 「指導と評価の計画」を作成する

1、2を踏まえ、学習内容に評価場面や評価方法を明記しながら計画していきます。さらに、どのような評価資料（子どもの反応やノート、ワークシート、パフォーマンス、作品等）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するか評価規準を考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりします。1単位時間で、3観点全て見取るのではなく、単元全体を通して評価できるように、評価の重点化や記録に残す評価をバランスよく計画する必要があります。

### 授業実践

3に沿って観点別学習状況の評価を行い、子どもの学習改善につなげたり、教師が自分の授業を振り返り、指導の充実につなげたりしていきます。

## 4 観点ごとに総括

集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、単元末や学期末、学年末等に、観点ごとの総括的評価（A、B、C）を行います。さらに、各観点別学習状況の評価結果をA、B、Cの組み合わせ、又は、A、B、Cを数値で表したものに基づいて総括し、評定を算出します。各観点の評価結果を小学校では3段階、中学校では5段階の数値で表します。

### 参考資料



# 第5学年 B器械運動 マット運動 教諭 細田 泰稔

(幕別町立幕別小学校)



## 授業実践 (3/6 時)

(2) 本時の流れ

	○主な学習活動	◇教師の働き掛け	■評価規準[方法]など
つかむ	○場の準備 ○準備運動 ○感覚づくりの運動 ・ゆりかご ・前転⇒開脚前転 ・後転⇒開脚後転	◇技能のポイントについて 声を掛ける。  ◇よい動きの子どもへ声を掛けれる	
	伸膝後転ができるように場所を選んで練習しよう		
ふかめる	○伸膝後転のコツを知る。  ○グループごとに練習を行う。  ○技の動画を振り、自分の課題を見付ける。	◇伸膝後転の行い方と、3つのコツを伝える。  ◇伸膝後転をやってみよう。  ◇グループごとに動画を撮って、技の課題を見付けよう。	■自分や仲間の考えたことを友達に伝えたり書いたりしている。(思・判断・表現)  【観察・ワークシート】  * ICT・タブレットの活用 ・動画の撮影と再生
まとめる	○伸膝後転ができるように、場を選択して練習する。  ・回転力が足りない ⇒ 膝伸ばしゆりかご ・立つときに膝が曲がる ⇒ 足を手に近付けて立つ ・勢いをつける感覚 ⇒ 板マット	◇個人の課題が解決できるように、練習場所を選び、グループで教えて合おう。  <知識・判断・表現を見取る場面①> ・グループ(4人組)ごとにタブレットを1台用意。 ・動画を振り、自分や友だちの技を見て課題を話し合う。 ・ワークシートに個人の課題を記入する。	
	○学習のまとめをする ○振り返りをワークシートに記入する。	◇課題を解決するためにどんな練習に取り組みましたか?  ◇振り返りを書きましょう。	■伸膝後転の行い方を知り、安定して行うことができる。 (知・技) 【観察・ワークシート】



ICT機器を活用して、自分の技能を客観的に捉え、事前に確認した技のポイントに注意しながら本時の課題を決めます。



自分の課題に合った練習場所を選択します。課題がはっきりしているので、目的をもって練習に取り組むことができます。



技のポイントに着目してお互いにアドバイスし合います。動画を見ながら行うことで、よりイメージが伝わりやすくなります。

## 4 本時の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現
目標	伸膝後転の行い方を知り、安定して行うことができる。	自分や仲間の考えたことを友達に伝えたり書いたりしている。
十分満足できる(A)	技のポイントを理解し、伸膝後転を行うことができる。	技のポイントや気付いたことを友達に伝えたり、ワークシートに書いたりすることができます。
おおむね満足できる(B)	技のポイントを理解し、自己の能力に適した課題解決の場で伸膝後転を行うことができる。	気付いたことや感想を友達に伝えたり、ワークシートに書いたりすることができます。
努力を要する(C)	技のポイントが理解できず、自己の能力に適した課題解決の場で伸膝後転を行うことができない。	気付いたことや感想を友達に伝えたり、ワークシートに書いたりすることができない。



手をけがしてあまりできなかつたけど、ろくぼくをつかってできたのでよかったです。

BからAに変容

私はうでの力がないので着地の時は何度もやって形がくずれてしまいます。どうすればできるのか考えてみました。結果、カエルとう立で力をつけることにしました。

【ワークシート】

授業の終末には、振り返りカードに本時の学びを記入します。「できた」「できなかった」の記述だけでなく、「工夫したところ」や「次に向けて」など、振り返る観点を指導しておくことで、子どもたちの「思考・判断・表現」を見取るようにします。また、評価を重ねていく中で、学びの深まりが見られた場合は、その変容を認め単元の評価に加点するようにします。

### ～実践してみて～

**体育は、技能を体で覚えることも必要**であるため、単元を通して、練習に重点を置く時間と話合いに重点を置く時間の活動のバランスを取ることが重要です。技能面の活動が多くなる単元もありますが、計画を作成する場合は、少なくとも1単元の中に1時間は、【思・判断・表】に重点を置く時間を設け、子どもの活動の様子を評価する必要があると考えます。

# 小学校体育科における「思考・判断・表現」の評価実践例

体育や音楽、図工などの実技教科の評価はどうしても技能ばかり目が向いてしまいます。曖昧になりがちな「思考・判断・表現」を評価するにはどうしたらよいでしょうか。そこで、今回は、体育科における「思考・判断・表現」の評価を意識した授業実践を紹介します。



## 1 単元の目標を作成

- (1) 回転系や技巧系の基本的な技を安定して行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。（知識及び技能）
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場の安全に気を配ったりすること。（学びに向かう力、人間性等）



## 2 単元の評価規準を作成

### 「思考・判断・表現」を評価するに当たっての基本的な考え方・進め方

思考・判断・表現の評価では、各領域の特性を踏まえ、子どもたちが自己の課題に応じて練習の仕方などを選ぶこと、思考し判断したことを言葉や文章及び動作などで表したり、友達や教師などに理由を添えて伝えたりすることを評価します。そのためには、子どもたちが自己の課題を見付けて活動できるように、補助的な運動や練習方法、運動する場などを工夫することが必要です。また、自己の課題について思考し判断したことを見取れるように、ワークシートに書いたり、友達と伝え合う場を設定したりするなど、計画的に進めることが大切です。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 開脚前転の行い方を知り、安定して行うことができる。</li><li>(2) 伸膝後転の行い方を知り、安定して行うことができる。</li><li>(3) 壁倒立の行い方を知り、安定して行うことができる。</li><li>(4) 技を繰り返したり組み合わせたりすることができます。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) <u>自己の能力に適した課題を見付け、その課題を解決する場を選んでいる。</u></li><li>(2) <u>技の組み合わせ方を工夫している。</u></li><li>(3) <u>自分や仲間の考えたことを友達に伝えたり書いたりしている。</u></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自己の能力に適した課題に積極的に取り組もうとしている。</li><li>(2) 約束を守り、助け合って運動しようとしている。</li><li>(3) 場の安全に気を付けている。</li></ol>

## 3 「指導と評価の計画」を作成

時	学習内容	評価規準【評価方法】		
		知・技	思・判・表	態度
1	マット運動の学習の流れを理解し、発展技に挑戦する (1)オリエンテーション (2)場づくり (3)感覚づくりの運動 (ゆりかご、かえるの足打ち、背支持倒立)			③ 【観察】
2 ・ 3 ・ 4	(1)感覚づくりの運動 (2)技のポイントを確認する (2時 開脚前転 3時 伸膝後転 4時 壁倒立) (3)グループ練習 (4)振り返り	①②③ 【観察・ワークシート】	①③ 【観察・ワークシート】	
5	自分の能力に適した技の組合せを発表する (1)感覚づくりの運動 (2)自分の能力に適した技の組み合わせを考える (3)グループ練習 (4)振り返り		② 【観察・ワークシート】	② 【観察】
6	(1)自分が考えた技の組み合わせの発表会 (2)振り返り	④ 【観察】		① 【観察】

# 第2学年 第1分野 3章さまざまな化学変化 教諭 笹川 拓哉

(幕別町立札内東中学校)



## 授業実践 (7/10 時)

実験レポート 組番名前  
(マグネシウムリボンが二酸化炭素中で燃えるのか)

仮説  
燃えない  
理由  
マグネシウムは無機物だから。二酸化炭素中では、物は燃えないから。

方法  
・燃焼時の観察の視点～色  
・生成物の検証方法：色、手触り、通電性、塩酸を加える  
集氣びんに石灰水を加える。  
・安全面：集氣びんには少量の水、ガスバーナーの使用法

結果  
・集氣びんの中に入れると、火花が飛び散り、その後すぐに赤くなった。  
・燃えた。白い灰になって(加熱後)、手触りはざらざらしていた。

本時の課題  
マグネシウムリボンがCO<sub>2</sub>の中で燃えたことを、原子、分子のモデルや化学反応式を用いて説明する。

考察  
結果からわざること～モデル・化学反応式を用いて考える  
(マグネシウム:●、酸素:○、炭素:◎)

実験レポート

結果からわざること～モデル・化学反応式を用いて考える  
(マグネシウム:●、酸素:○、炭素:◎)

2 Mg + CO<sub>2</sub> → C + 2 MgO

振り返り  
(ポイント)・学習前後(実験前と実験後)の考えを比較して書きましょう。  
・周りとの対話を通して、どのように課題を解決しようとしたか書きましょう。

### 【課題】

マグネシウムが二酸化炭素の中で燃焼することを、原子や分子のモデルや化学反応式を用いて説明する。

### 【授業の流れ】

#### 1 仮説を立てる

既習事項を生かして仮説を立てることで、論理的思考力を養います。



#### 2 実験方法の確認

#### 3 実験・結果の確認



酸素中のマグネシウムの燃え方と比較しながら、実験を行います。

#### 4 本時の課題の確認

#### 5 考察、交流

意見交流を通して、協働的に課題を解決することができます。



#### 6 振り返り

- ・学習前後(実験前と実験後)の考え方を比較して書きましょう。
- ・周りとの対話を通して、どのように課題を解決しようとしたか書きましょう。

## 4 本時の評価

記述する際のポイントを提示することで、評価の妥当性が高まります。

観点	主体的に学習に取り組む態度
十分満足できる(A)	実験前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしており、学習前後における変容を具体的に記述している。
おおむね満足できる(B)	実験前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしている。
努力を要する(C)	実験の結果だけを記述している。

### 生徒の実験レポートの記述より

#### 【A評価】

無機物であるマグネシウムとものを燃やす動きがない二酸化炭素では燃えないと考えましたが、班のみんなとの交流をふまえ、炭素ができることが分かりました。以前習った「還元と酸化は同時に起こる」ということもあり、化学変化によって炭素と酸化マグネシウムが発生することが分かり、二酸化炭素中でもマグネシウムは燃えることが分かりました。黒いもの(炭素)がビンの内側につきました。

#### 【B評価】

二酸化炭素にものを燃やす動きがないので消えると思いましたが、実験したら自分の仮説と逆でした。周りの人と対話して、考えて解決しました。

#### 【C評価】

二酸化炭素は燃えないと思っていたので、びっくりしました。

### ～実践してみて～

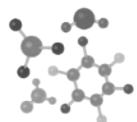
今回は、記述する際のポイントを提示したことで、子どもの思考が順序よく整理され、課題解決につなげることができました。また、その後の授業においても、話合いや記述内容の質が向上しました。ただ、理解していくても記述内容が不十分な子どもが見られたことが課題を感じました。振り返りの記述から評価を継続的に行うことで、より妥当性と信頼ある評価ができると考えます。

# 中学校理科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価実践例

「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価するか、悩んでいる先生方は多いのではないでしょうか。今回は、理科における「主体的に学習に取り組む態度」を実験レポートの記述より評価する実践例を紹介します。

## 1 単元の目標を作成

- (1) 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元、化学変化と熱を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。（知識及び技能）  
(2) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現すること。（思考力、判断力、表現力等）  
(3) 化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うこと。（学びに向かう力、人間性等）



## 2 単元の評価規準を作成

### 「主体的に学習に取り組む態度」を評価するに当たっての基本的な考え方・進め方

具体的な評価方法として、ノートやレポート等の記述、授業中の発言、教師による行動観察、子どもによる自己評価・相互評価が考えられます。今回は、実験レポートの記述から1単位時間で評価しますが、単元や題材など内容のまとめを通して、実験への取組やグループでの話合い活動など、総括的に評価していきます。目標の実現に向けて自己の学習を調整しようとしているか継続的な把握に努めることが大切です。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (2) 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けていている。	(1) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行っている。 (2) 原子や分子と関連付けて結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	(1) 化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

## 3 「指導と評価の計画」を作成

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準（観点）【評価方法】
1 ・ 2	1 物質どうしが結びつく変化（2時間） ・鉄と硫黄を反応させる実験を行い、反応前後の性質の違いを比較し、別の物質が生成していることを見いだす。 ・化学変化を、原子や分子のモデルと関連付けて理解する。	思  知	○	・反応前後の性質の違いを比較し、硫化鉄が生成していることを見いだして表現している。（思・判・表）【実験レポート】 ・化合と分解について、原子や分子のモデルと関連付けて理解している。（知・技）【ノート】
3 ・ 4	2 物質が酸素と結びつく変化（2時間） ・スチールウールを燃焼させる実験を行い、酸素と結びついで、別の物質が生成していることを見いだす。 ・銅やマグネシウムが酸素と結びつく反応を、原子や分子のモデルと関連付けて理解する。	思  知	○	・鉄が酸素と結びついで、酸化鉄が生成していることを見いだして表現している。（思・判・表）【実験レポート】 ・酸化は、物質が酸素と結びつく反応で、特に激しく熱や光を出す反応が燃焼であることを理解している。（知・技）【実験レポート】
5 ・ 6	3 酸化物から酸素をとり除く変化（3時間） ・酸化鉄と炭素から鉄と二酸化炭素が生成したことを、原子や分子のモデルを用いて表現する。	思	○	・実験の結果を基に、化学反応について原子や分子のモデルを用いて酸化と還元が同時に起っていることを表現している。（思・判・表）【実験レポート】
7	・二酸化炭素中でマグネシウムリボンが燃焼する現象を観察し、その変化を原子や分子のモデルを用いて説明する。	態	○	・二酸化炭素中でマグネシウムリボンが燃焼する現象について、他者との対話を通じて説明しようとしている。（態度）【実験レポート】
8 ・ 9	4 化学変化と熱の出入り（2時間） ・炭酸水素ナトリウムとクエン酸、水を反応させる実験を行い、化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだす。 ・鉄粉の酸化を利用したカイロの生成を行い、発熱について理解する。	知		・実験の結果を基に、化学変化には発熱反応、吸熱反応など熱の出入りが伴うことを見いだして表現している。（知・技）【ノート】
10	まとめ・振り返り ・化学変化に関する学習を振り返り、概念的な知識を身に付けているかどうかを確認する。	知	○	・化学変化に関する概念的な知識を身に付けている。（知・技）【ペーパーテスト】

# 特集 2

## 遠隔授業の今 ～withコロナ～

昨今の状況と遠隔授業

P.12

Web会議システムZoomの使い方

P.13

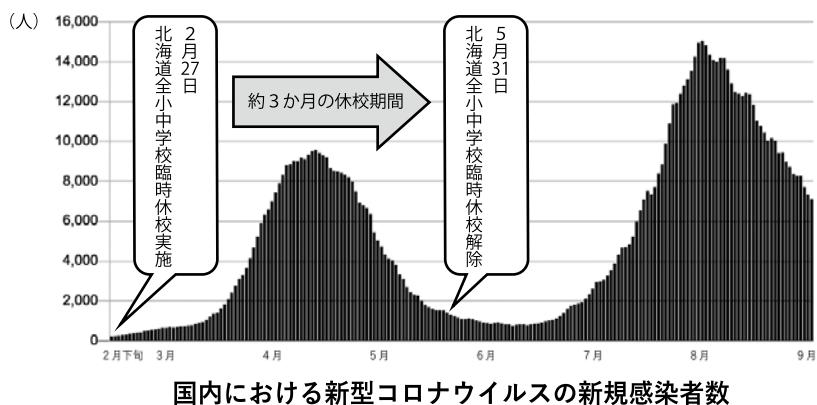
「画面共有」を使えば遠隔授業が簡単にできる！ P.14

チームで取り組めば、効果も倍に！ P.15

新型コロナウイルス感染症対策もあり、Web会議システムを活用した授業や研修会などの取組が全国的に展開されるようになりました。特に大学や一部の学校では、ほとんどの授業が遠隔授業

### ◆ポストコロナ社会の学校教育とは

今年、世界で流行した新型コロナウイルスは、我が国にも大きな災いをもたらしました。累計感染者68000人、死者1299人（9/1現在）という被害は過去に例を見ません。未だ収束の兆しが見えない中、子どもたちの学びを止めないために、我々はいったい何ができるのでしょうか？



臨時休校になつてから、その対応策として遠隔授業を開始するのではなく、日頃から子どもたちの学習環境の整備を意識し、日常の授業実践の延長となるように環境整備を進めておくことが必要です。今回の臨時休校では、家庭訪問を行い、学習課題を配布して対応した学校が多いようです。今後は年度内に整備される一人1台端末の活用を視野に入れて、遠隔授業に取り組んでみていかがでしょうか。各家庭のインターネット環境が十分ではないなどの課題も考えられますが、日頃から状況の把握に努めるなど、備えておく必要があると思われます。

### ◆環境整備や日頃の授業実践の延長として

となり、学生は自宅で授業を受けるようになります。また、小中学校においても、学校が臨時休校になって、子どもたちの学びが止まらないよう、家庭での学習を支援する取組が始まつてきてあります。学校に子どもたちは戻りましたが、今後、更に感染が拡大する可能性もあり、その際に備えた取組が求められます。万が一、臨時休校が起きた際に、即座にしっかりと対応できるよう、遠隔授業を進めるためのポイントを整理しました。

# Web会議システム－Zoom－の使い方

3月の臨時休校から、オンラインでの授業が注目され始めました。子どもたちの学びを止めないためにも、とても有効な手段であると思われます。そのためには、オンラインで授業を行うための体制作りが必要となります。今回は、オンライン学習で使用されることの多いWeb会議システム「Zoom」の基本的な操作方法や実践について紹介します。

## ホスト側

### ステップ1 【ユーザー登録】

ミーティングを始めるには、ホスト（学校・教師）がユーザー登録（無料）することが必要です。ユーザー登録するには、Zoomをダウンロードし、メールアドレスを登録し、パスワードを設定するだけです。これで、無料で会議を開催することができます。

### ステップ2 【ミーティングの予約】

- ①スケジュールをクリックすると、「ミーティングをスケジューリング」という画面が出てきます。
- ②「トピック」に会議名を入力します。
- ③「日時」会議を予定している日時を選択します。
- ④「時間」会議時間は、無料版は40分です。（他の時間に設定しても40分経つと自動で切れます。）
- ⑤「ID」は、「自動的に生成」が簡単です。
- ⑥「パスワード」は変更する必要がありません。
- ⑦「ビデオ」の入室時の画面はホスト、参加者共にONにしておくと、スムーズに会議が始まられます。
- ⑧最後に、スケジュールをクリックすると「ミーティングID」と「パスワード」を取得することができます。それらを参加者（子ども・家庭）に事前に伝え、ミーティング開始時までにログインしてもらいます。

### ステップ3 【会議の開始】

- ⑨会議の時間になったら、「開始」をクリックすると会議が始まります。参加者が待合室に入ったら、「許可」をクリックし、入室してもらいます。

## 参加者側

がミーティングに参加するには…

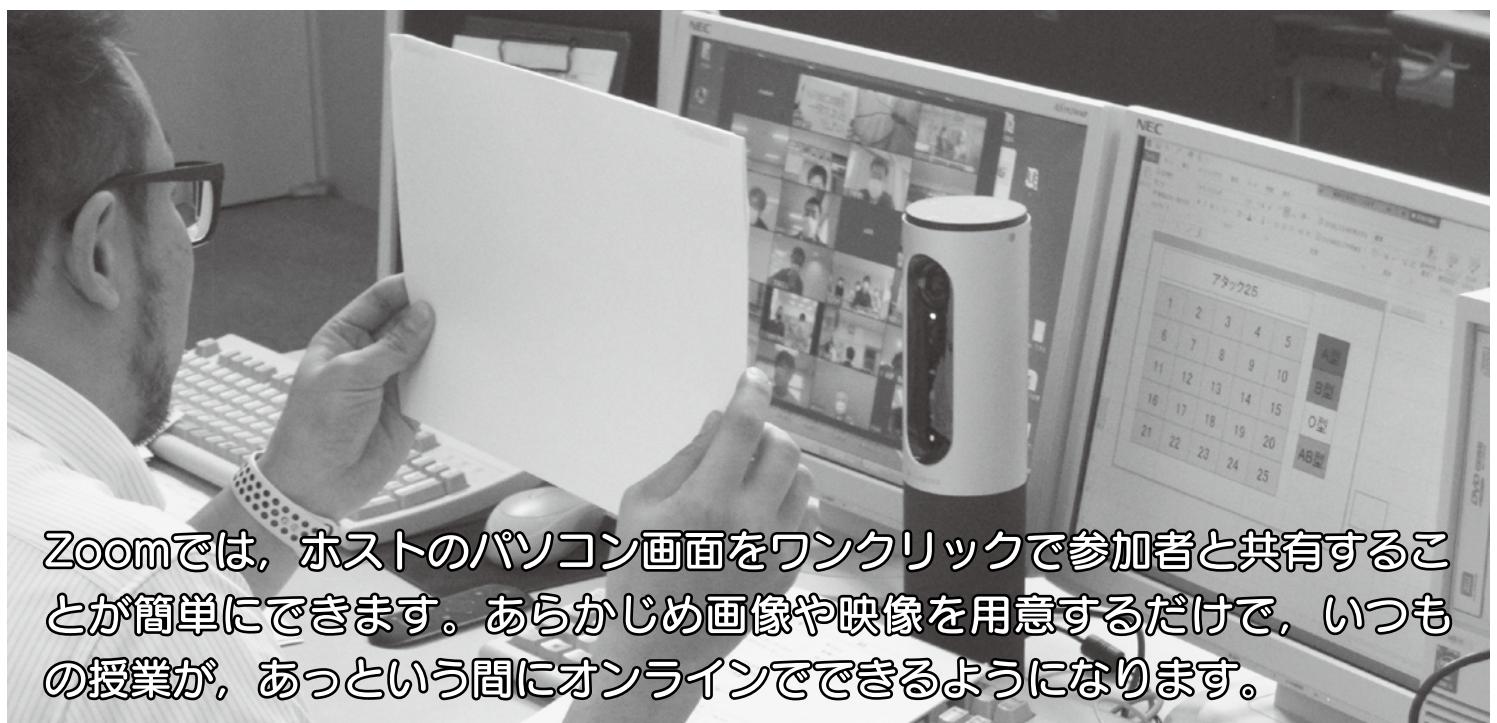
- ①事前にZoomをダウンロードします。
- ②ホストから「ミーティングID」と「パスワード」を受け取ります。
- ③会議開始時間が近づいたら、Zoomを起動し、事前に送られてきた「ミーティングID」と「パスワード」を入力します。
- ④ホストから許可が下りると、会議に参加できるようになります。

## 参考

北海道教育研究所連盟 HP  
「令和2年度（2020年度）  
北海道教育研究所連盟所員研修会」  
「Web会議システムの  
基本的な操作について」



# 「画面共有」を使えば遠隔授業が簡単にできる！



Zoomでは、ホストのパソコン画面をワンクリックで参加者と共有することができます。あらかじめ画像や映像を用意するだけで、いつも の授業が、あっという間にオンラインでできるようになります。

①「画面の共有」をクリック



事前に、表示したい画面を用意しておきます。次に Zoomの画面で表示されるバーの「画面の共有」をクリックします。

②共有したい画面をクリック



「画面の共有」をクリックすると、現在使用している画面がすべて表示されます。その中から使いたい画面をクリックすると参加者の画面に共有したい画面が表示されます。

こんな機能もあります



【チャット】

クリックすると、ウィンドウが表示され、参加者とテキストでやりとりができます。



【ミュート】

マイクの「ON」「OFF」を行います。人数が多い場合は、発言する人以外は基本「OFF」にしておきます。

まずは、抵抗感をなくすためにゲームなどで楽しみながら「画面の共有」を試してみましょう。ただし、全員が勝手に発言すると授業は成立しません。基本的に、指名された子どもがミュートを解除して発言したり、チャットで入力したりするなどルールを工夫する必要があります。

今回は、自作教材を活用しましたが、無償で公開されているコンテンツを利用することもできます。



芽室町立芽室小学校 教諭 三上 智弘

# チームで取り組めば、効果も倍に！

## 1 使い方を学ぶ ~先生も子どもも初めての取組~

コロナ禍で休校が長期化する中、双方向でやり取りができるWeb会議システムを、遠隔授業や子どもたちの健康観察に活用することを検討しました。職員の理解のもと、研修会を早期に実施し、学校としてオンライン授業への取組を始めました。子どもたちは、分散登校時に、実際にオンラインで授業をしながら使い方を学び、タブレット端末を持って帰宅。次の日から、オンライン授業がスタートしました。

## 2 いつもの授業を行う ~実技を伴う教科もオンライン~

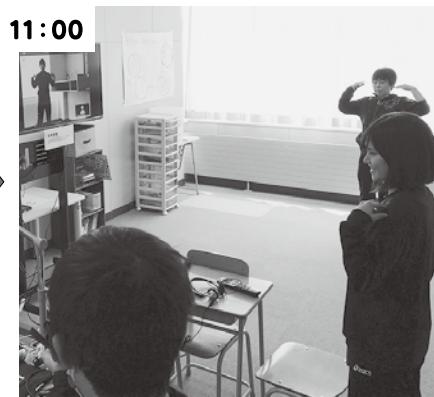
授業時間は、Zoomの無料時間でもある40分間で行います。今回は、遠隔授業の他にも様々な業務が重なったため、午前中の3時間で設定。子どもの身体（目）への負担軽減や、授業者の入れ替えの時間を考慮して、開始時間を1時間ごとにしたほうがわかりやすいなどの理由から、授業の合間の休憩は20分間としました。



【家庭科】保育実習に向けてネームバンド作り。完成したら、作品を写真に写して提出。



【音楽科】伴奏を流し歌唱。オペラ動画を流して鑑賞。事前にプリントを配布し、授業に合わせて記入。



【保健体育科】ウォーミングアップダンスやいつも行っている筋トレなどを実施。後半は保健分野のプリント学習。

## 3 子ども喜ぶ ~友だちに会えるだけでもうれしい~



【国語科】一斉授業だけでなく、ペアやグループに分かれて話し合う「ブレイクアウトルーム」を活用したこと、「たくさん話すことができた」と子どもたちも喜んでいました。

今回の取組では、実際に2週間にわたって遠隔授業を実施できたことが大きな成果です。遠隔授業を行うにあたって主要教科に限定することも考えましたが、全教科にすることで、職員に一体感が生まれました。また、子どもたちもいろいろな教科を学ぶことができ、喜んで取り組んでいました。今後は、端末を更に有効活用できるように模索していく必要があります。ただし、全ての職員がICT機器の活用にたけているわけではありません。誰にでもできる気軽な活用方法を考えながら職員のモチベーションを高めていくことが必要だと考えています。

豊頃町立豊頃中学校

校長  
教諭  
服部 和樹  
鍋島 賢



# わたしの授業実践

～思考の過程を  
大切に～

音更町立共栄中学校

教諭 山田 光



教え合うことで、問題解決の過程が整理され、理解が深まる。

近年、子どもたちの理数科離れが叫ばれ、数学への学習意欲の低下が深刻になつてきています。世の中が便利になり過ぎて、身の回りの家電なども全てロボット化しており、なんでもボタン一つで、自動でやつてくれます。また、スマホや電子マネーの普及などで、子どもたちにとって一番身近なお金の計算でさえ、学習する場面が減っています。現に、授業でお金の計算を例にすると「どうりあえず大きなお金を払えば、お釣りが来るから計算なんてしない」という子どもも多数います。そこで、できる限り“自ら考える”ことや“考えたことを整理する”ことを意識して授業を進めています。

「わたしの授業実践」の原稿依頼をいただきましたが、特別な実践は特にありません。ただただ、目の前の子どもが、少しでも数学を好きになってくれれば、数学得意になってくれれば、数学が得意になつてくれれば、自信をもつてくれれば、と思って授業を進めています。

だからあえて、つまづいている子どもには、どのように考えたかを質問するよう心掛けています。そうすれば、子どもがどんなことを考えているのか、どんなつまずきをしているのかを振り返ることができますし、教師側もつまずきやすい箇所を知ることができます。また、途中まで正しい説明ができたなら、「ここまでしっかりと理解できているよ」と励ましてあげることもできます。子ども自身が、どこでつまづいているかを知ることで、今後の家庭学習をどのように進めていけばよいかも考えることができます。そして何より、子どものつまずきのパターンを多く知ることで、授業改善に生かしていくことができます。さらに、つまずきやすい部分は全体で確認しています。

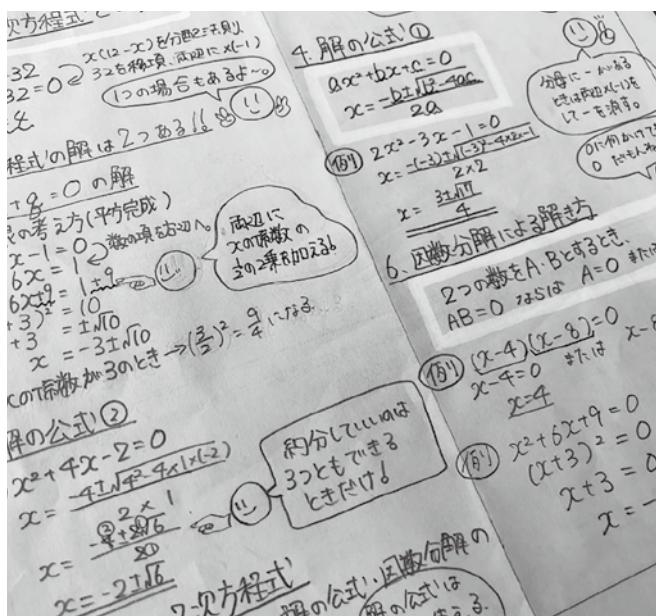
数学に苦手意識をもつていている子どもに接していく感じることは、自分の思考した過程を説明できないということです。自らがノートに書いている計算の手順を説明できません。自分が何をしているかも分からず、説明もできずに、計算過程を書いています。加えて、最初から意図がなく、適当に見えていた数字を並べている子どももいます。

## ■はじめに

## ■思考過程を大切に

### ■教え合いの雰囲気を

私の授業では、教師からの説明をできるだけ簡潔にして、問題演習の時間を多く取るようにしています。また、この時間の中で、子ども同士の教え合いを積極的にさせています。つまづいている子どもに対して、解き終わった子どもが、席を移動し説明する学習を行って



# 自分自身の思考の過程を大切にしながら、課題を解決していくことができる学習活動の工夫。

は、はじめやルールが大切です。合わせて、できるだけ多くの子どもたちが自分の言葉で、説明をする経験するように心掛けています。時間に余裕があれば、教科書の例題も教師や代表の子どもの説明で終わらずに、ペア学習やグループ学習で、お互いにどのようないろいろな仲間から説明してもらうこと、自分が理解できていないところに合った分かりやすい説明を聞くことができます。もちろん、行う際に



合う時間を設けています。また、思考の過程や計算過程をしっかりと書きせる課題を出すこともあります。このように、自分の考えを言語化することで理解が深まっていくのではないかと考えています。

## ■基礎・基本の定着

お互いに交流をして説明し合っています。何度も取り組んでいくうちに、どんどん自分たちで教え合うようになります。説明する側は、取り組んでいくうちに、問題解決の過程が整理され、よくうまく説明できるようになります。それが理解の深化につながっていきます。苦手意識の強い子どもには、なかなか教師に質問できない子どももいます。いろいろな仲間から説明してもらうこと、自分で合った分かりやすい説明を聞くことができます。もちろん、行う際に

は、けじめやルールが大切です。合わせて、できるだけ多くの子どもたちが自分の言葉で、説明をする経験するように心掛けています。時間に余裕があれば、教科書の例題も教師や代表の子どもの説明で終わらずに、ペア学習やグループ学習で、お互いにどのようないろいろな仲間から説明してもらうこと、自分が理解できていないところに合った分かりやすい説明を聞くことができます。このように、自分の考えを言語化することで理解が深まっていくのではないかと考えています。

## ■レポートの作成

単元が終わるたびに、レポート作成の課題を提示しています。学習した内容を振り返り、自分の言葉でまとめ、図や表、グラフなどを使って工夫しながら子どもたちは作成しています。一学年の頃は苦戦していましたが、学年が上がるにつれて、上手にまとめることができるようになつてきました。また、単元の最初にはシラバスを配布し、学習内容の見通しをもたせていました。そして、“数学で作品づくり”と題して、関数領域では、座標や直線で絵を描くこと、図形領域では、図形の敷き詰めや立体作成

そこで、計算のルールや公式、図形領域の性質や条件などは、子どもの目に入る廊下や特別教室内に掲示をするようになっています。また、数と式の分野の単元の基礎となる部分は、小テストなどで確認をして、休み時間などを利用し、補習や追試などをして、基礎基本の定着を徹底するように心掛けています。自分のつまずきに気付き、少しづつでもクリアしていくれば、自信にもなるからです。その小さな自信が大きな成長につながることを期待しています。

## ■おわりに

GIGAスクール構想や今回のコロナ禍でのリモート学習など、タブレットやPCを使って、インターネットを介した授業を行う機会が増えます。自分のつまずきに気付き、少しずつ意識をもつている子どもの思考過程をどのように教師側が押さえていくかが課題と考えます。多くの学校で環境が整い始めていますが、どのようにしてオンラインの中で、子どもたちの考えを拾い上げていくのかを大目にしながら、授業の組み立てを考えていく必要があるのではないかでしょうか。

技術革新が急激に進む一方で、今回新型コロナの感染拡大のように予測困難な時代を迎えている今、数学科という教科を通して、子どもたちが自分自身の思考の過程を大切にしながら、目の前の課題を解決していくことができるよう、これからも授業づくりをしていきたいです。

などを楽しんでいます。

# わたしの 学級経営

～自分で考え、  
行動できる子どもたちへ～

浦幌町立浦幌小学校

教諭 村瀬陽子

## 「学校が楽しい！」

## につながる活動を大切にすること。



### ■はじめに

中・高学年の担任が続いていた中、十数年ぶりに低学年を担任することとなり、「1年生はどんなことから始まるのだつたかな?」と少々戸惑う気持ちがありました。あれから3年、学級経営がうまくいっていると感じたことは、ほとんどありませんが、日々、子どもたちと奮闘し、これでいいのかなと反省しています。

### ■学級経営で大切にしていること

常に考えていることは、子どもたちが「学校って楽しい!」と思うことができていて、安心して過ごせているかということです。

- 1 子どもたちの声を聞くこと
- 2 子どもたちが自分で考え動けるようになること
- 3 子どもたちが自分の思いを伝えられるようになること
- 4 家庭とつながること

この4点を達成するための低学年での取組を紹介します。

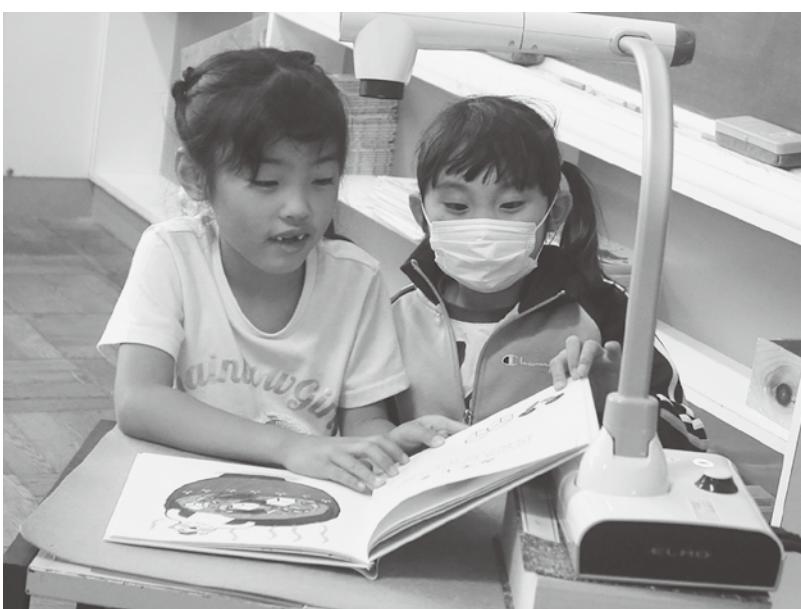
### ■当番活動

当番活動とは、「学級のために必要な仕事」であり、給食当番や掃除当番があげられます。入学したばかりの1年生は、初めてのことばかりで、当番活動を行うのもなかなか大変です。始めのうちは、6年生が行つてくれたり、手伝ってくれたりします。「いつも、きれいなトイレで気持ちがいいね」「6年生って、自分の教室以外にも、1年生の掃除もしてくれているのだよ。すてきだね」と伝えます。子どもたちは、

その6年生の姿を見つめるようになります。そして、「自分たちもやりたい!」となっていました。1年生の何でも「やってみたい!」「自分たちでできるよ!」いう熱量は相当なものですが、ですから、入学してなるべく早い段階で、当番活動をスタートさせています。

2年生では、当番担当表を掲示することをやめます。「自分たちで話し合って、担当を決められるかな?」と尋ねると、「できるよ!」と返ってきます。

1年生のうちは、当番担当表を用いました。給食当番であれば、「今日は誰が汁物を盛り付ける」とか、掃除当番であれば、「誰が雑巾がけをする」などが分かるようにした表です。こうすると、どの子も満遍なく経験ができるようになります。



## ■係活動

係活動は、「自分が学級のためにしたいこと」と伝え、子どもたちが、自主的に生き生きと取り組めるように考えています。ですが、1年生の係活動は、当番活動と明確に区別をせず、取り組みやすい係を担任から提示します。とにかく、活動の経験を積むことを目的にしています。1年生の後半には、自分たちの活動の振り返りをさせます。それによって、同じ係でも、「こんな活動をするのはどうかな?」と活動の内容を広げる意見を出す子どもが出てきます。「それ、すごくいいね」と、自分たちで考えたことを褒め、帰りの会などで紹介します。すると、他の係も「○○したい!」と話し合うようになります。活発な係活動となつていきます。

2年生では、担任からは、係を提示せず、子どもたちに一から話合いをさせています。時間はかかりますが、1年生で経験を積んだことによつて、「やりたい」と思うことを考えることができるようになります。新しい活動も続々と登場します。

例えば、1年生の時には、担任から

# 低学年の子どもたちが、できることを見守つっていく。

誕生日カードを渡していたのが、「バースデー係」ができ、休み時間にカードを作つて、ハッピーバースデーの歌でお祝いをしていました。また、朝読書の時間の読み聞かせは、「本係」ができ、数週間ごとに紙芝居や絵本の読み聞かせをしていました。このように様々な楽しい活動が増えます。

1年生の係活動のスタートは、担任が「誰が何をするか」を明確にしたものが、2年生では、子どもたちのやる気、自主性に任せていきます。

係活動の掲示カードも決められた様式に記入していましたが、自分たちの係をアピールするために、自由に書かせるようにします。子どもたちの希望からできあがつた係活動は、学級の雰囲気を明るくしてくれます。

## ■朝の会・帰りの会

朝の会の連絡は、きっと、多くの先生方がそうであるように、分かりやすく手短にすることを心掛けています。1時間目までに隙間時間ができると、「お休みに何をしていたか」などの、出来事を聞くようにして、子どもたち

の様子を知ります。

帰りの会では、「今日のぴかぴか」という時間を設け、すてきな言葉や行動の人を子ども同士で紹介します。言わされた人も言つた人も気分がよくなります。友達の頑張りやすくてきな行動を認め、一緒に喜び、次への意欲につながるいい時間だと思っています。

## ■いろいろな人と対話する場面

子どもたちが、感じたことを伝えら

れる機会を多く設けています。もちろん、全員が発表を得意としているわけではありません。「誰と似ているかな?」「同じように言つてもいいよ」と伝え、頑張つて発表した後には、みんなが拍手を送ります。「緊張してたのに、頑張つたね」と言つてくれる子もいます。

各行事の終わりの会で楽しかったことを伝えたり、ボランティアさんによる読み聞かせ会で、お話の感想を伝えたり、地域のお年寄りの方との交流で、お会話を設けたりします。それにより、少しずつ対話することもできるようになりました。

## ■おわりに

このような子どもたちの活動を学級通信でお知らせするなど家庭に還元することで、親子での会話のきっかけになればと思っています。

低学年でも、少しずつ自分でできることは何かを考え、動くことができるようになると信じ、手を出し過ぎずに見守つていきたと考えています。

低学年の子どもたちの場合、いろいろなことに時間がかかります。しかし、



# 研究所めぐり

ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む  
探究・提案・発信型の学びを目指して

～芽室町教育研究所の取組～



芽室町教育研究所  
所長 吉本

徹

## ■はじめに

芽室町教育研究所は、芽室町の教育の進歩改善に資するため、教育に関する専門的調査研究や、教育関係職員の研修及び教育振興に寄与するための調査研究を行っています。

また、今日的な課題を解決するとともに、教育の充実に資する事業も行っています。菅原副所長以下7名の研究員と8名の研究協力員で、子どもたちにとって「芽室で学んで良かった」と思える教育環境づくりやそれに役立つ研究や資料の提供に努めています。

## ■令和2年度の事業について

新型コロナウイルス感染症のため、4月から休校を余儀なくされました。が、5月21日に第1回所員会議を行い、今年度の事業計画について決定しました。

### (1) 地域学習書「めむろ学」の編集

昨年度から引き続き、小学校所員4名と研究協力員4名で編集作業を行っています。小学校3・4学年社会科の



副読本編集会議の様子

までは、来年度には子どもたちが使用できるよう鋭意準備を進めています。課題を「つかみ」、予想や計画を「立て」、「調べ」まとめたことを「発表」し、学んだことを「広げ」「深め」していくように探究・発信型の編集をしています。実際に取材した写真やグラフなどを豊富に使用し、子どもたちに分かりやすく、先生方も使いやすい副読本を目指しています。

### (2) 「めむろ未来学」の作成

「めむろ未来学」は、小・中9年間を通して、めむろを知り学ぶ活動を通して、ふるさとに愛着と誇りをもち、未来を創るために考動できる子どもの育成を目指すものです。

3年計画の初年度となる今年度は、小学校・中学校の各教科・総合的な学習の時間・各領域等に存在しているふるさと学習関連の単元を把握・分類・整理し、ふるさと学習に関する内容のモデル化を行います。芽室について知るだけでなく、未来志向の提案型の学



めむろ未来学構造図

びを模索していきます。

中学校研究所員の3名と小学校研究協力員4名でワークショップを行ない、各学校で行っている芽室の教育的資源を生かした取組について、小学校9か年での学びの中で構築したりしています。今年度は、全体構造図や9年間を見通した学びの系統図の作成を目指しています。



めむろ未来学構想会議の様子

(3) その他の取組について  
ICTを活用した確かな学力、基礎基本を身に付ける授業づくりの研究については、各学校持ち回りで行っています。昨年度は芽室南小が研究校として、3月にタブレットを使った体育の授業公開を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの感染防止のため臨時休校となり、公開できませんでした。今年度はGIGAスクール構想によるICT環境整備と連携した研究を進めていく予定です。



タブレットを使用した授業研究（昨年度上美生中）



和久田学氏を招いての講演会

また、昨年度は2号の所報の他に、小学校プログラミング教育などICTに関する事例や学習計画、プログラミ

芽室町発達支援センターと連携した特別支援教育の研究では、十勝管内に広く参加を呼び掛けて、講演会を行っています。昨年度は7月に子どもの発達科学研究所の和久田学氏を招き、「いじめに関する事実と具体的対応」の講演会を行いました。今年度は7月を開催を延期し、1月に「不登校予防」をテーマに実施する準備を進めています。

## ■おわりに

新型コロナウイルス感染症の拡大という前例のない事態への対応、そして先を見通すことが大変困難な状況の中で令和2年度が始まりました。年度当初に予定していた研究事業が、計画通りに進めることができず、変更を余儀なくされる状況が続いております。このような状況にあっても、子どもたちのために今できる精一杯の研究を推進していくことを思っています。子どもたちが「次代に輝く芽室の人」に成長し活躍できるとともに、先生方の日常実践の役に立てるよう、研究所における成果を各学校や関係機関、保護者や地域の方々に還流・浸透していくよう、全研究所員、研究協力員の協働・連携で取り組んでいきます。

ングソフトを「Tips」（ちょっとしたコツ）という題の研究所だよりにして3号発行し、各学校に情報提供をしてきました。今年度は所報を2号出す予定です。

## ■はじめに

養護教諭が行う学校保健における啓発活動の1つに「保健だより」がありますが、「どうしたら興味をもって読んでもらえるか」は、常に私の頭を悩ませるテーマとなっています。

## ■保健室の特性から見えてくる子どもの姿を

保健室はふらりと訪れる事のできる「開放性」と、誰でも利用でき、安心感のある「受容性」を兼ね備えた、「ひだまり」のような暖かみのある空間であります。

昼休みの保健室には、いろいろなニーズをもった子どもたちが来ます。子どもたちの話や人間関係にアンテナを張る中で、見えてくることや感じることが多々あり、保健だよりに盛り込むようにしています。

## ■保健だよりに込める私の想い

保健だよりは、次の4点を大切にしながら作成しています。

- ①子どもの学校での姿や子どもとの関わり（子ども観）が見える
- ②子どもが抱える健康問題をどう捉えているか（健康観）が伝わる
- ③子ども、保護者、教職員とのコミュニケーション材料になる
- ④「いつもみんなのことを見ているよ」のメッセージ性をもつ



## ■「清水中学校」ならではの保健だよりに

子どもの実態が把握できていないと、伝えたいことが明確にならず、なかなか筆も進みません。

そこで、休み時間、花育活動、清掃活動、部活動、学年・学校行事など、子どもと丁寧に関わり、目と耳と心で実態を把握することを心掛けています。

さらに、過去の産物は使い回しせず、本校の子どもや保護者に「今」伝えたい「旬」な話題を、日常の出来事や子どもとの会話を取り入れながら

「本校ならでは」の形で伝えることになっています。例えば個人記入式の朝の健康観察表に「今日の○○(簡単な質問)」を付加するなど、オリジナリティを出すためのネタ集めには、余念がありません。

また、視覚に訴えるレイアウトの工夫、保健室や養護教諭に親しみを感じてもらうためのコラム、子どもや先生方を紙面に登場させるなど、試行錯誤を重ねて読者獲得に励んでいます。

清水町立  
清水中学校  
養護教諭  
**合掌 彩子**

## ■おわりに

ちまたにはプリント類があふれ、必要な情報は簡単にインターネットで入手できる今、「どうせ読まずに資源ごみ?」と気持ちが萎えることもあります、「楽しみにしています」「ためになりました」「『ひだまり』のテストあつたら 100 点とるよ」等の声を支えに、今後も「読んでもらえる」保健だより作りを模索していこうと思っています。

**健やかな心と体**  
**～たかが保健だより、されど保健だより～**

# 令和2年度 十勝教育研究所 研究発表大会

ねらい

今日的な教育課題について、十勝教育研究所が今年度調査研究した成果を発表し、研究協議を通して研究成果を広げ、今後の管内教育の充実発展に資する。

日時

令和3年 2月4日(木), 2月5日(金)

15:00～16:30

期日をどちらか選択し、ご参加していただきます。  
(両日ともに同じ内容です。)

会場

Zoomでのオンライン開催

共同研究

主体的に学習に取り組み、学びを深める子どもを育む研究（2/2年次）  
～各教科における見方・考え方を働きさせた、単元デザインや学習活動の工夫を通して～



Zoomでの実践発表・研究協議  
2つの研究をご覧ください

学び



子どもたちにしなやかな心を育む研究（1/2年次）  
～道徳科と特別活動における指導の工夫を生かして～

協力員研究

今年度の両研究につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研究推進担当所員の勤務校の協力を得て、研究理論に基づき所員が授業実践しております。

# 研究 主題

主体的に学習に取り組み、学びを深める子どもを育む研究  
～各教科における見方・考え方を働きかせた、単元デザインや学習活動の工夫を通して～

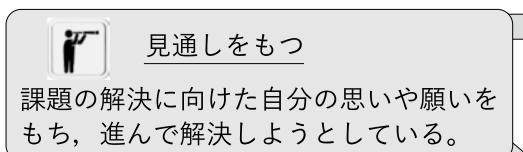
幕別町立幕別中学校 第1学年英語科 **単元 Lesson5 「中華街に行こう」 授業者 野村 知未**

## 授業実践

三人称単数現在形（肯定文）の文の特徴やきまりを、日課を聞いたり、伝えたりして理解することができる。（1/7）

見  
通  
す

- 単元を確認する。



シラバスを配布し、単元のゴールをイメージするために、パフォーマンス課題のモデルを示す。



- 日課のフレーズの意味確認と発音練習をする。  
○教師と英語でやり取りをする。  
○今までの違いについて考える。

日課の表現を使い、主語を一・二人称から三人称に置き換えた表現を使う。  
やり取りを通して、既習事項との違いに疑問を生み出し、課題につなぐ場の設定をする。



第三者について説明する時のきまりの特徴に着目し、既習の知識と関連付けて考える。  
今までとの違いは何かな。

- 課題を確認する。

◆学習課題 ほかの人やものについて説明しよう。

- 三单現のルールについて確認する。

- ・主語が三人称
- ・主語が単数（1人、1つ）
- ・現在形
- ・sやesの付け方と発音

What time do you get up?



- ・パワーポイントを活用して既習事項を振り返りながら、きまりについて整理できるようにする。
- ・活動を通して、理解を深められるよう机間指導したり、助言したりする。（TT）

Activity 1

- 日課を聞いて、時刻を書く。

I get up at six.

Activity 2・3

- ペアになり、お互いの日課の時刻を質問し、別の相手に伝える。



協働して課題解決する

解決策につながる情報を収集している。



既習事項との使い分けができるようにする。  
目の前の相手にどう質問したらいいかな。

ペアで考えたり、話したりする場面を設定する。  
教え合うことで、課題の解決につなげるようする。

Activity 4

- Activity 3の活動で伝えたことを書く。

- 振り返りシートを記入する。

- 振り返りを交流する。

sを付けるのを忘れないようにします。



- ・自分の日課を話すときと、第三者の日課を伝えるときの言い方の違いに気付くよう支援する。（TT）



- ・分かったこと、困ったことなどについて書き、本時を振り返り、全体で交流する場面を設定する。

振り返る

- 次時の確認をする。

幕別町立札内南小学校 第3学年算数科 単元 円と球 授業者 斎藤 雅彦

## 授業実践

中心、半径の長さに着目して、円の構成の仕方や性質について理解する。(1/8)

見通す

「わなげの並び方を考えよう」

- 10人程度で直線に並び、わなげをする。
- 感想を話し合う。

わなげの棒まで  
近い人と遠い人がいる。

不公平じゃないかな？



近いから入りそう。

遠くて  
難しいな。



見通しをもつ

課題の解決に向けた自分の思いや願いを  
もち、進んで解決しようとしている。

わなげの体験活動を通して、疑問を生み出し、課題につなぐ場の設定をする。

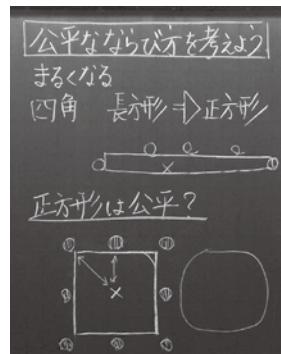
- 公平な並び方を考える。

◆学習課題 公平な並び方を考えよう。

同じ距離にすれば  
公平になる。



周りに並ぶと同じ  
距離になるかな？



- 正方形でわなげをする。



協働して課題解決する

解決策につながる情報を収集している。

わなげの共通体験の場を設定する。

必要感のある交流の場を設定する。

・ペア、グループで相談する時間を設定する。

- 感想を話し合う。



まるい形にすれば同じ  
距離になると思います。

▶ 公平な並び方のためには、棒からの距離を同じ  
にすることに着目する。

何を同じにすれば公平な並び方になるのかな。

- 棒からの距離を測ってそろえ、同じ距離にして  
わなげをする。

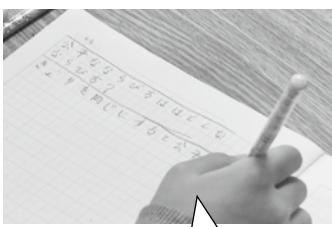
- 感想を話し合う。

距離が同じで公平になった。



並んでみたら  
まるい形に  
なっている。

- 公平な並び方をノートに書いて振り返る。



距離を同じにすると公平です。

▶ 同じ距離で並ぶと、どのような形になるか考える。  
公平に並ぶとどんな形になったかな。



距離をそろえる並び方が公平です。

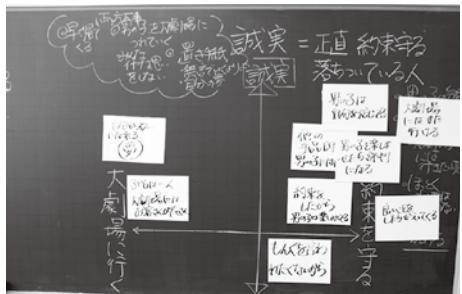
距離をそろえるとまんまるな形に  
なっています。

振り返る

# 研究 主題

## 子どもたちにしなやか心を育む研究 ～道徳科と特別活動における指導の工夫を生かして～

5 みんなの考えは「誠実」のかを考え、思考ツールで整理する

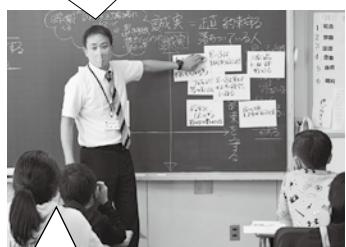


### 使用した思考ツール 【座標軸】

対象について、複数の立場から考える

6 ゆさぶりの発問を基に、本当の誠実とは何かを考える

では、「面倒くさいけど、文句を言わたくないから行くかな」は約束を守っているから誠実だということですね。



それは、自分の心に正直であるけど、行動にうそがあるので、誠実ではないと思います。

7 自分が考える「誠実」について、プリントに記入

誠実とは、だれとがにも左右されず自分の100%の気持ちでその約束を守り正直だ、たりするこだとと思った

終末

見付ける

決める

5 自分から見て、  
・関わりにくいと感じる人  
・一方的に自分の意見を伝える人  
・イライラした伝え方をする人  
とはどのように関わればいいのだろうか

とりあえず話を聞いてあげる必要があるんじゃないかな？



自分が冷静になることも大切だと思うよ。

「イライラしたら6秒我慢する」って自分でもできるかも。

まとめ：心の在り方（冷静になるなど）、どういう行動（話をきいてあげるなど）をするかを選んで友達と関わるとよい

## 各教科等

### ふだんの授業



### 朝の会・帰りの会 係活動

### 児童会・生徒会活動



しなやかな心

## 学校生活全般



### 体育祭 芽中祭（9/25-26） 文化祭



## 学校行事

よりよく生きようととする力が高まる

自分のよさや可能性に気付く

幕別町立  
幕別小学校  
第6学年

道徳科

授業者  
杉澤 諭

教材名  
「手品師」  
内容項目  
「20歳いじつに明るい心で」  
主題  
正直、誠実

## 1 誠実とは何か？ 言葉の意味から考える



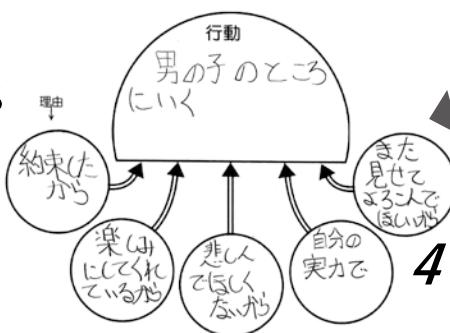
## 2 「手品師」を読んであらすじを知る



課題：手品師の考える誠実とは何だろうか

## 3 「自分が手品師だったら、どうしたか？」について思考ツールで考える

使用した思考ツール  
【クラゲチャート】  
テーマについての様々な考えを理由付ける



## 4 手品師はなぜ大劇場ではなく、男の子のところへ行ったのか、自分の考えを書く

手品師は、男の子をうらぎりたくないし、約束したことは守りたい。だって夢はいつか叶うんだから、男の子はだれよりも大切なお客様なんだから。

導入

展開

さぐる

つかむ

## 1 キャリア・パスポートを活用した、自己の振り返り



1学期は、積極的に係活動に取り組めていたけど、最近は…。

## 2 昨年の体育祭や文化祭での活動の振り返り

楽しかったよね！



でも、途中で強く言いすぎて、もめごとに なったこともあったよね。

## 3 3つの話し方を役割演技で体験する

この前のCD、早く返せよ！  
ふざけるな！



えっ、何！？

## 4 役割演技の振り返り

役割演技を体験して  
Aさん すぐ嫌な感じ  
言ひ方がキツくて  
2人も気が悪い  
Bさん なよなよして、でもかわいい  
あいまいに言わずに  
ちゃんと言てしまい  
言ひ方がやさしくて  
わかりやすいから  
やさしいことが  
正確に伝わる  
Cさん

【研究との関わり】  
ソーシャルスキルの活用

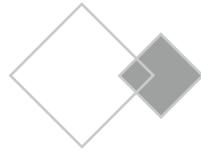
今後の成功体験の積み重ねるために他者との関わり方について、自分の心の動きを捉える。

課題：話し方の違いでどう感じるかを体験して、自分の心の保ち方を考えよう

芽室町立  
芽室中学校  
第2学年

学級活動

授業者  
大橋 一博



## NITS 独立行政法人教職員支援機構

全国の学校教育関係職員に質の高い研修機会を提供するため、いつでもどこにいても研修が可能となる「校内研修シリーズ」を始め、講義や動画などの研修教材を提供しています。「校内研修シリーズ」では、新学習指導要領やカリキュラムマネジメントの他、コーチングや働き方改革など多様なテーマで115本紹介されています。NITS のオンライン講座の動画は、どれも20分程度なので、例えば校内研修の前後に視聴し、その後半に演習やまとめを行うなど、活用しやすい内容になっています。なお、学校現場や教育委員会等に活用していただくことを前提として作成しているため、特別な許諾を必要としません。

**教職員の学び応援ページ**  
～教職員支援コンテンツ特設ページ～

ホームページ  
<http://www.nits.go.jp>  
QRコード



## NIER 国立教育政策研究所



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」や「学習評価の在り方ハンドブック」など、日々の実践にすぐ役立つ指導資料や実践事例を紹介しています。また、文部科学省と連携して、PISA 等の調査の実施・検討、調査結果の分析・公表及び TIMSS の実施、調査結果の分析、公表などを行っています。

ホームページ  
<https://www.nier.go.jp/>  
QRコード



## 小学校を中心としたプログラミング教育ポータル

実施事例

- A 学習指導要領に掲載されている单元で実施するもの
- B 学習指導要領に掲載されていない单元で実施するもの
- C 教育課程内で教科科目とは別に実施するもの
- D プログラムなど、特定の授業を対象として、教育課程内で実施するもの
- E その他

実施事例の例

- A 物語「星とやま」による「正解発見」
- B 物語「トトロ」と「おひるねの約定」による「おひるねの約定」
- C 教科科目を複数とするが、教育課程外のもの
- D プログラムなどを実施する
- E その他

多数の実施事例や教材情報のほか、企業が提供する自宅等で学習することを想定した子ども向けの無料コンテンツが紹介されています。また、小学生 YouTube クリエイターである「Kan & Aki」ちゃんと、未来の学びコンソーシアムがコラボして制作したプログラミング体験動画も視聴することができます。



ホームページ  
<https://miraino-manabi.jp>  
QRコード



8/25  
(火)

## 北海道教育研究所連盟 所員研修会

【実施方法】オンデマンド配信

今年度は、コロナ禍であることや夏季休業の短縮などを考慮して、オンデマンド配信により、期間内の都合のよい時間に短時間で視聴できる動画を用いた研修が行われました。研修動画「Web会議システムの基本的な操作について」と「Web会議システムの活用事例及び事例の成果と課題について」から、Web会議システムを活用した研修講座及び会議等の新たな運営や学校における授業等での活用の在り方について研修しました。また、子どもも教師も学びを止めない方策を探り、可能性を広げる必要性についても考えました。



8/28  
(金)

## 北海道教育研究所連盟研究発表大会(上川大会)

【実施方法】Web会議システム



Web会議システム（Zoom）で全道各地の参加者をつなぎ、行われました。所長研修会では「コロナ禍における教育研究所・センター経営」について、全体会では第17次共同研究に係る説明及び「新しい研修の在り方と学校への支援」について、パネルディスカッションとZoom機能（ブレイクアウトルーム）を活用した参加者相互の協議が行われました。

記念講演では、国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官である二井正浩氏から、「教育研究所・センター所員の資質能力の向上に向けて～学びに向かう力等を育成するための指導と評価の在り方について～」という演題で講演が行われました。

新学習指導要領における新たな評価観点で、どのような内容を、どのような方法で指導し、どのような目標を達成させるかを明確にすることや、評価の妥当性・信頼性を高め、日々の授業改善につなげることの大切さを改めて学びました。また、教育現場においても「コロナ禍だけができる」ことや「コロナ禍だからこそできる」ことに目を向け、試行錯誤しながらも、ためらわずに変えていかなければならないと考えさせられました。

# 編集後記

担当のオススメ本



「ルビィのぼうけん」は、コンピューターとテクノロジーと、プログラミングについての絵本です。前半は、好奇心旺盛な女の子ルビィが、宝石集めを通してプログラミングに必要な考え方方に触れる物語で、後半は練習問題へと続いていきます。小さいお子さんから読み進められる本なので、ぜひ、家族で読んでほしい本です。

「ルビィのぼうけん」  
著/リンダ・リウカス  
翻訳/鳥井 雪  
出版社/翔泳社

## 担当から

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大によって社会の形が大きく変化した1年でした。戸惑いをもって受け止められた「新しい生活様式」も、今では当たり前のように定着し、人々の行動規範となっています。Web会議システム「Zoom」を使った飲み会も珍しくなくなりました。

教育界でも「新しい生活様式」や「Zoom飲み会」と同じように、新しい学び方が生まれようとしています。これまで、指導に有効と言われつつも、なかなか浸透しなかったICT機器がここにきて一気に広まりました。また、非接触型の学習方法などが模索されるなど、従来の学びから大きく変わろうとしています。今年度中には、端末が1人1台配備されます。新しい知識や技術は、きっと次の未来につながるはずです。十勝教育研究所は、これからも先生方のお役に立てるような情報を発信していくよう努めていきたいと思います。

なお、子どもたちの写真の中には、熱中症予防のためにマスクを着用していない写真もあります。

## 次号予告

### 特集 GIGAスクール構想～どう学びが変わるのか～

国が推進する「GIGAスクール構想」。一人一人にタブレットが整備されることとなりましたが、何を整備して、どんな授業を目指しているのかを特集します。

- ◇巻頭言 ◇教育現場への期待 ◇退職教職員挨拶・閉校紹介
- ◇わたしの授業実践 ◇わたしの学級経営
- ◇共に学び共に育つ ◇日本人学校より ◇教育情報
- ◇日々徒然 ◇学校めぐり

## 十勝教育研究

令和2年11月号 第336号

発行所

十勝教育研究所

〒089-0531

北海道中川郡幕別町札内曉町290番地の2

TEL 0155-56-2331

FAX 0155-56-4260

印刷所

株式会社アド・プリント

北海道帯広市東3条南8丁目17番地

# 日々往々

何気ない出来事に心を寄せて

## 20年越しの指導

芽室町立芽室南小学校

教諭 中村俊太



こわい先生がいた。小学校の頃に所属していたバスケットボール少年団のコーチだったその先生は、若くてエネルギーで、厳しい男性だった。バスケが下手で心も弱かった私は、夕方の体育館前にその先生の赤い車を見付けると、「ああ、今日も怒られるんだろうな…」と憂鬱な気分になっていた。そんなことを考えて練習に取り組んでいるときは案の定、「ゴールから逃げるな！」とお決まりの言葉でお叱りを受けるのである。

そんな言葉も忘れて大人になり、教師になつた私が先生と再会したのは、20年が経つた昨年4月。「お久しぶりです」と声を掛けると、私のことを覚えていてくれた。それだけでも十分うれしかったのだが、話をしているうちに、私自身も忘れていた例の決まり文句を先生の方から言つてくれた。「相手やゴールに向かってぶつかってほしくて、いつも『逃げるな！』って言つてたよなあ」20年越しに話を聞いて初めて、その言葉が「お叱り」ではないことを知つた。語気が強く、言われるのが嫌だったその言葉は、子どもの成長を願う「優しさ」の言葉だつた。そして何より、特別うまくもなく、目立ちもしなかつた私に掛けた、私自身も忘れていた20年前の言葉を覚えていてくれたことに衝撃を受けた。

そんな言葉も忘れて大人になり、教師になつた私が先生と再会したのは、20年が経つた昨年4月。「お久しぶりです」と声を掛けると、私のことを覚えていてくれた。それだけでも十分うれしかったのだが、話をしているうちに、私自身も忘れていた例の決まり文句を先生の方から言つてくれた。「相手やゴールに向かってぶつかってほしくて、いつも『逃げるな！』って言つてたよなあ」20年越しに話を聞いて初めて、その言葉が「お叱り」ではないことを知つた。語気が強く、言われるのが嫌だったその言葉は、子どもの成長を願う「優しさ」の言葉だつた。そして何より、特別うまくもなく、目立ちもしなかつた私に掛けた、私自身も忘れていた20年前の言葉を覚えていてくれたことに衝撃を受けた。

元「コーチ」で現「同僚」である先生は、相変わらず厳しい時もたまにあるが、子どもたちと正面から向き合うための準備や教材研究を怠らない。その姿から子どもたちへの深い愛情を感じ、20年がたつた今も「逃げずに向き合う」ことの大切さを教わっている。

## Outdoor Hokkaido

幕別町教育委員会

国際交流員 グリーンハウ・ステイーブ



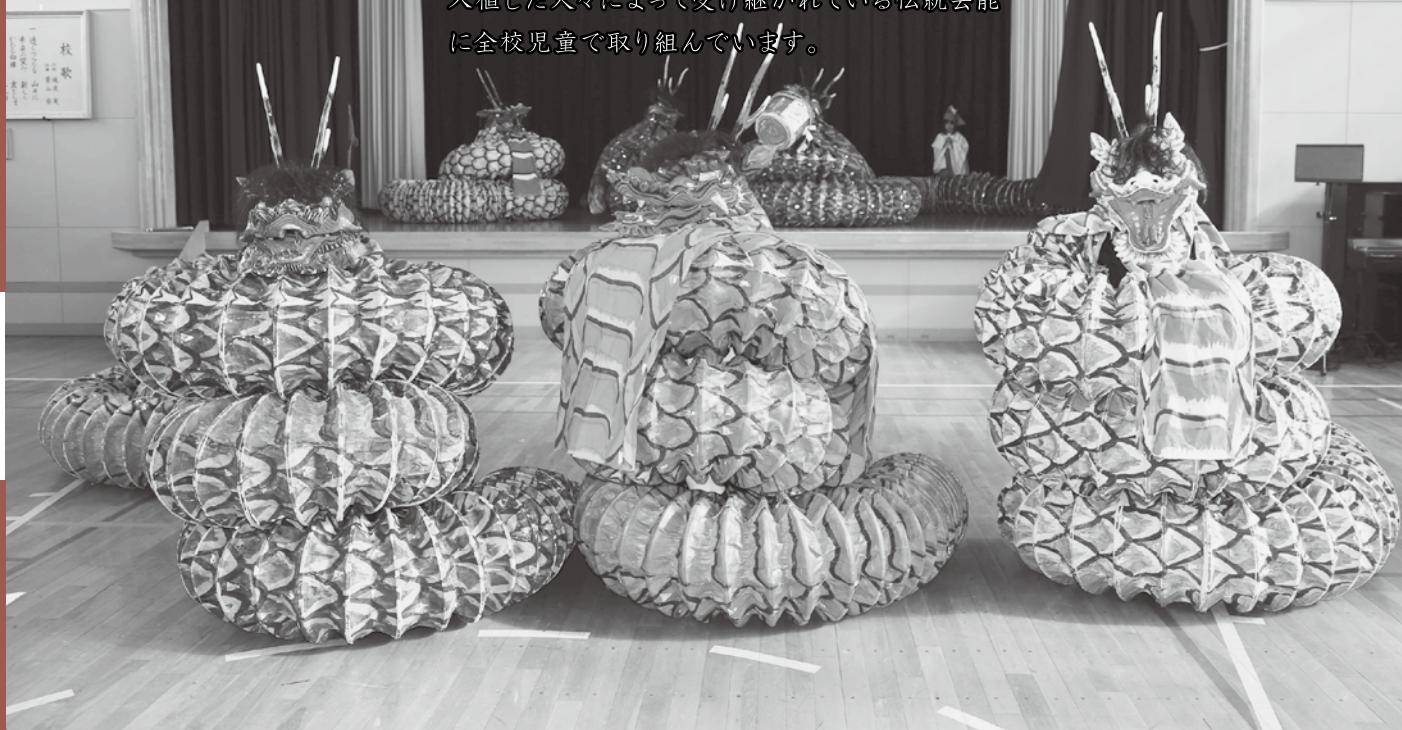
私は、1991年に大学の後輩から北海道の話を聞いて、山と雪を楽しむためにきました。山と雪だけではなく、北海道の天候と地形はたくさん外で活動する機会を私たちに与えてくれます。道民の皆さんも寛容で親しみやすいと思います。私は、アウトドア活動を通して、北海道のいいところと悪いところをたくさん見てきました。私が教える子どもたちにも、是非アウトドアを通して多くの可能性に触れ、人々といい交流をしてほしいと思っています。

道東で自転車ツアーやをした時の出来事です。3日間自転車をこぎ、玉ねぎ、牧草、小麦、大豆、コーンなどいろいろな畑を通りました。それらが山や川と交わっているのは、本当に面白く感じました。

糠平から出発して、大雪山国立公園の中にある峠でコーヒを入れようと、ジエットボイルでお湯を沸かし始めた時のことです。店の中から見知らぬ男性が飛び出してきて「ノー、ファイヤー！」とだけ叫んで店に戻っていました。私たちには、突然知らない人から、何の説明もなく命令されてしまいました。あの男性は、英語を使いましたが、コミュニケーションを取ろうとしたことがとても残念です。

石北峠を越えて、温根湯温泉にたどり着いた時には、駐車場にいた2人に日帰り入浴のことを聞くと、混んでいて宿泊客しか入浴できないと言われました。しかし、すぐに携帯電話と無線で私たちが入浴できる所を探してくれました。結局のところ、入浴できる温泉は見付からず、フロントと話し合つて特別に入浴を許可してもらいました。入口近くでは、従業員の方が自転車を停める場所を用意して、スリッパも貸してくれて、靴置き場にも案内してくれました。他の温泉なら断られたかもしれないけれど、その温泉の皆さんは歓迎してくださり、いい思い出になりました。

いろいろな人と出会い、様々な困難な状況にあったとしても、コミュニケーションを取ろうと努力することで、よい結果になると 思います。



## 【岩見神楽（いわみかぐら）】

島根県石見地域から上札内の元更別地区に入植した人々によって受け継がれている伝統芸能に全校児童で取り組んでいます。

# 学校めぐり



中札内村立上札内小学校

■児童数 16名(5学級)

■教職員数8名

中札内市街から8km南西に位置する本校は、6つの行政区全ての地域住民がPTA会員となっています。昨年12月には、地域協働型の学校づくりが評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。今年度は、22年ぶりに学校教育目標を改定するとともに、「Innovation(革新)」「Co-creation(共創)」「Confidence(信頼)」をキーワードに、教職員・保護者・地域住民がワンチームとなって、「人が育つ、感動と夢のある学校」の実現に向けて努力しています。



### 【小さな上小美術館】

「北の大地ビエンナーレ」の作品などを展示する校内美術館を今年度オープンしました。館長、学芸員は子どもが務めています。



### 【ユニサイクルチャレンジ】

一輪車の元世界チャンピオンである松田良平氏を講師に迎え、ユニサイクル（一輪車）による演舞に取り組んでいます。



### 【地域協働型学校づくり協議会(CS)】

CS上札内小部会では「子どもの遊び場づくり」を推進しています。丸太の遊具に校歌の歌詞を書くなど子どもたちも協働しています。



HP QRコード



十勝教育研究所